

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	寺井 秀樹 内科学(呼吸器)
在籍期間	平成21年8月～平成24年3月
臨床研究教育受講歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究入門コース受講</li> <li>・臨床研究・治験活性化のための国際セミナー受講</li> </ul>
主たる臨床研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺扁平上皮癌患者を対象としたS-1とCDGP併用の第I/II相試験</li> <li>・高齢者切除不能未治療非小細胞肺癌に対する Biweekly Paclitaxel+Carboplatin併用療法 (第II相臨床試験)</li> <li>・慶應病院呼吸器内科でPET-CTを施行された症例に関する後ろ向きの解析</li> <li>・扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌に対するBevacizumab治療 コホート調査</li> <li>・高齢者の進行・再発非小細胞肺癌に対するエルロチニブの有効性と安全性についての検討 -Phase II study-</li> <li>・既治療非小細胞肺癌に対するCPT-11+S-1併用療法の第I/II相試験</li> </ul>
治験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ONO-7643第II相試験 非小細胞肺癌に伴うがん悪液質に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験</li> <li>・ACCESS試験(国際共同治験)</li> <li>・CytoFab試験(国際共同治験)</li> </ul>
業績発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2011 IASLC 14th World Conference on Lung Cancer. H Terai, K Soejima et al. Biweekly carboplatin and paclitaxel as first-line therapy for elderly advanced non-small cell lung cancer patients (phase II study)</li> <li>・池村辰之介、寺井秀樹 他 Non-Small Cell Lung Cancerに対する2nd line CPT-11 + S-1 併用療法 (Phase II) 2011年7月 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会</li> <li>・寺井秀樹、副島研造 他 当院におけるBevacizumab併用化学療法の使用経験 2011年11月 第52回肺癌学会総会</li> <li>・寺井秀樹、副島研造 他 胸部異常影良悪性の鑑別におけるFDG-PETの有用性 2010年11月 第51回肺癌学会総会</li> <li>・悪性腫瘍を疑いFDG-PETを施行した 呼吸器良性疾患54症例の臨床的検討 2010 臨床放射線</li> <li>・S. Yoda, H Terai, et al. A phase I study of S-1 and irinotecan combination therapy in previously treated advanced non-small cell lung cancer patients. Cancer Chemother Pharmacol. 2011 Mar;67(3):717-22.</li> </ul>

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	宮本 樹里亜 皮膚科
在籍期間	平成21年9月～平成24年3月
臨床研究教育受講歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究入門コース受講</li> <li>・臨床研究専門化コース受講</li> <li>・医療統計基礎コース受講</li> <li>・臨床研究・治験活性化のための国際セミナー受講</li> </ul>
主たる臨床研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者および類天疱瘡患者、後天性表皮水疱症患者を対象としたRituximab の効果・安全性の探索的研究</li> </ul>
治験	なし
業績発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者および類天疱瘡患者、後天性表皮水疱症患者を対象とした Rituximabの効果・安全性の探索的研究.</li> <li>稀少難治性皮膚疾患第1回総会, 2010.7.16.</li> <li>稀少難治性皮膚疾患第2回総会, 2010.12.17.</li> <li>稀少難治性皮膚疾患第1回総会, 2011.12.16.</li> <li>稀少難治性皮膚疾患第2回総会, 2011.7.8</li> </ul>

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	中村 雄二 内科学(消化器)
在籍期間	平成21年9月～平成22年4月
臨床研究教育受講歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究入門コース受講</li> <li>・医療統計基礎コース受講</li> <li>・臨床研究デザインコース受講</li> <li>・臨床研究・治験活性化のための国際コース受講</li> </ul>
主たる臨床研究	・膵臓・胆道疾患におけるリンパ球分画検討
治験	・ACCESS試験(国際共同治験)
業績発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐伯恵太、中村雄二他 自己免疫性膵炎におけるIgG4輸送メカニズム. 2011.7月 第48回日本消化器免疫学会総会</li> <li>・中村雄二、金井隆典他 マウス慢性膵炎セルレインモデル糖代謝異常における単球遊走受容体CCR2の関与. 2011.7月 第42回日本膵臓病学会大会</li> </ul>

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	松本 公宏 内科学(血液)
在籍期間	平成22年4月～平成24年3月
臨床研究教育受講歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究入門コース受講</li> <li>・医療統計基礎コース受講</li> <li>・臨床研究デザインコース受講</li> </ul>
主たる臨床研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低悪性度B細胞性リンパ腫に対するリツキシマブとベンダムスチン併用療法の有効性と安全性に関する多施設共同試験</li> </ul>
治験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種血液領域新薬関連</li> </ul>
業績発表	なし

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	中本 伸宏 内科学(消化器)
在籍期間	平成22年5月～平成22年9月
臨床研究教育受講歴	なし
主たる臨床研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C型慢性肝疾患患者に対する分岐鎖アミノ酸(BCAA)顆粒製剤長期投与の臨床効果についての検討(現在進行中)</li> <li>・ウイルス性肝炎、肝細胞癌に対する抗原特異的T細胞の機能修飾を介した新規免疫療法の確立</li> </ul>
治験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AZD9773第Ⅱ相臨床治験■ 日本人重症セプシス患者及びセプティックショック患者を対象とした第Ⅱ相多施設共同臨床試験</li> </ul>
業績発表	なし

平成21年度～平成23年度クリニカルリサーチフェロー実績報告

氏名・所属(担当)	梅田 瑠美子 内科学(消化器)
在籍期間	平成22年10月～平成24年3月
臨床研究教育受講歴	なし
主たる臨床研究	・慢性肝疾患患者におけるエネルギー代謝評価における加齢の重要性
治験	なし
業績発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症型アルコール性肝炎に対する集学的治療と転帰、およびその後の経過についての検討 梅田瑠美子,山岸由幸,海老沼浩利,中本伸宏,楮伯松,碓井真吾,堀江義則,齋藤英胤,加藤眞三,日比紀文;2011.12.10肝臓病学会西部会岡山一般演題口演</li> <li>・慢性肝疾患患者におけるエネルギー代謝評価における加齢の重要性-体成分分析装置(In Body S20)を用いて 梅田瑠美子,海老沼浩利,山岸由幸,中本伸宏,若山遊子,石橋由佳,碓井真吾,楮柏松,金井隆典,齋藤英胤,日比紀文;2011.10.20 JDDW 博多パネルディスカッション</li> <li>・非B非C肝癌の現状-アルコール性と非アルコール性における背景肝病変からみた検討 梅田瑠美子,碓井真吾,楮柏松,石橋 由佳,中本伸宏,山岸由幸,海老沼浩利,齋藤英胤,日比紀文 ;2011.7.29肝癌研究会 静岡ポスター</li> <li>・重症型アルコール性肝炎(SAH)に対する顆粒球吸着療法(G-CAP)のサイトカイン推移からみた治療効果の検討 梅田瑠美子,山岸由幸,堀江義則,碓井真吾,楮柏松,中本伸宏,松岡克善,海老沼浩利,久松理一,齋藤英胤,加藤眞三,日比紀文;2011.5.13消化器病学会総会 東京(京王プラザ) ミニシンポジウム</li> </ul>

